平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名　株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 吉川 恭史　TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	57,919	△1.9	2,966	△22.8	3,076	△20.6	1,525	△39.7
25年3月期第1四半期	59,030	3.3	3,842	△3.6	3,875	△3.9	2,528	37.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,607百万円　(△34.0%)　25年3月期第1四半期　2,435百万円　(28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2,824.32	2,819.30
25年3月期第1四半期	4,650.93	4,644.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,688	58,713	48.5
25年3月期	121,353	57,978	46.9

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　57,607百万円　25年3月期　56,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,500.00	―	1,600.00	3,100.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		1,600.00	―	16.00	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割いたします。平成26年3月期(予想)の期末配当につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は3,200円00銭(第2四半期末1,600円00銭、期末1,600円00銭)となります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,000	0.9	4,200	△44.2	4,300	△42.1	2,200	△31.9	40.74
通期	263,000	1.4	10,700	△33.0	11,000	△29.7	5,500	△34.4	101.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割いたします。平成26年3月期の連結業績予想における第2四半期(累計)および通期の1株当たり当期純利益につきましては、株式分割が当期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	543,828 株	25年3月期	543,828 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,863 株	25年3月期	3,863 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	539,965 株	25年3月期1Q	543,622 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権や日本銀行による金融政策及び経済対策の効果と期待から、円安、株価上昇による個人消費や企業収益の回復の傾向が一部見られました。一方、新興国の景気減速、円安による原材料価格や電気料金の上昇、消費税増税への動きなどから、消費者の防衛意識による低価格志向や消費の選別等により、節約志向の高まりから個人消費は低迷し、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、お客様の生活を『より楽しく』『より豊かに』する、あらゆるサービスを手軽に末永くご提供するため、積極的な出店による販売網の拡大とシェア向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、当社グループの基幹である「ゲオショップ」のスクラップアンドビルドを行い６店舗のスクラップと同時に新規出店を16店舗行い、10店舗増加し1,263店となりました。

また、「ゲオショップ」に続く店舗網の構築を目指すリユース店舗の「セカンドストリート」、「ジャンブルストア」におきましても、店舗管理者人材の有効活用も考慮し、小型複合店を9店舗閉店するとともに11店舗の出店を行いました。将来のリユース市場の成長に向けて、市場拡大期に出店による更なるシェアの向上を図るとともに、認知度向上に向け、ゴールデンウィークのセール時にあわせ全国テレビＣＭを実施するなど、お客様に選ばれる店舗づくりを進めております。

その結果、当第１四半期連結累計期間の連結業績は、売上高57,919百万円（前年同期比1.9％減）、営業利益2,966百万円（前年同期比22.8％減）、経常利益3,076百万円（前年同期比20.6％減）、四半期純利益1,525百万円（前年同期比39.7％減）となりました。

以下は、当第１四半期連結会期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。
（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	ＦＣ店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,342 (+21)	101 (△1)	135 (△1)	1,572 (+19)
小売サービス店舗	1,289 (+21)	101 (△1)	135 (△1)	1,519 (+19)
ゲオショップ	1,065 (+12)	101 (△1)	97 (△1)	1,263 (+10)
セカンドストリート ジャンブルストア	308 (+2)		40 (0)	348 (+2)
アミューズメント施設	53 (0)			53 (0)
ゲオディノス	20 (0)			20 (0)
ウェアハウス	10 (0)			10 (0)
ゲオフィットネス	16 (0)			16 (0)
ゲオカフェ・飲食店	8 (0)			8 (0)

（注）１．店舗数は屋号ごとにカウントしております。
２．同一施設内において複数の屋号で営業している場合、小売サービス店舗としては併せて１店舗とカウントしております。
３．同一施設内において直営店と代理店・ＦＣ店を複数の屋号で営業している場合、屋号ごとにカウントしておりますが、小売サービス店舗合計としては併せて１店舗とカウントしております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は52,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,447百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,797百万円、売掛金が999百万円減少したことによるものであります。固定資産は65,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が222百万円、投資その他の資産のその他が245百万円増加した一方、有形固定資産が375百万円、のれんが298百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、118,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,665百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計年度末における流動負債は36,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,099百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が3,870百万円増加した一方、買掛金が3,483百万円、未払法人税等が2,410百万円減少したことによるものであります。固定負債は23,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円減少いたしました。これは主に社債が593百万円増加した一方、長期借入金が666百万円、その他が286百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、59,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,401百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は58,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ735百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,525百万円及び剰余金の配当863百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.5％（前連結会計年度末は46.9％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年５月９日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,102	22,305
売掛金	5,035	4,035
商品	18,695	18,792
その他	7,628	7,921
貸倒引当金	△293	△335
流動資産合計	55,166	52,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,660	15,597
その他（純額）	23,463	23,150
有形固定資産合計	39,124	38,748
無形固定資産		
のれん	1,904	1,605
その他	1,120	1,071
無形固定資産合計	3,024	2,677
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,438	15,661
その他	12,548	12,794
貸倒引当金	△3,949	△3,913
投資その他の資産合計	24,038	24,542
固定資産合計	66,186	65,968
資産合計	121,353	118,688
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,386	8,902
短期借入金	130	4,000
未払法人税等	3,987	1,577
引当金	1,198	724
その他	21,702	21,101
流動負債合計	39,405	36,305
固定負債		
社債	1,684	2,277
長期借入金	13,852	13,186
引当金	255	251
資産除去債務	3,575	3,637
その他	4,603	4,316
固定負債合計	23,970	23,668
負債合計	63,375	59,974

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	6,078	6,078
利益剰余金	42,300	42,961
自己株式	△334	△334
株主資本合計	56,648	57,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227	298
その他の包括利益累計額合計	227	298
新株予約権	155	155
少数株主持分	946	950
純資産合計	57,978	58,713
負債純資産合計	121,353	118,688

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	59,030	57,919
売上原価	32,367	30,934
売上総利益	26,662	26,985
販売費及び一般管理費	22,819	24,019
営業利益	3,842	2,966
営業外収益		
不動産賃貸料	206	302
その他	179	110
営業外収益合計	385	412
営業外費用		
支払利息	130	97
不動産賃貸費用	108	141
その他	114	63
営業外費用合計	353	302
経常利益	3,875	3,076
特別損失		
減損損失	114	154
その他	19	25
特別損失合計	133	179
税金等調整前四半期純利益	3,741	2,896
法人税、住民税及び事業税	1,621	1,656
法人税等調整額	△359	△293
法人税等合計	1,261	1,362
少数株主損益調整前四半期純利益	2,479	1,533
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△49	8
四半期純利益	2,528	1,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,479	1,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	73
その他の包括利益合計	△43	73
四半期包括利益	2,435	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,488	1,596
少数株主に係る四半期包括利益	△52	11

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間　（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,665	2,954	58,619	410	59,030	－	59,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	0	9	7	17	△17	－
計	55,674	2,954	58,628	418	59,047	△17	59,030
セグメント利益又はセグメント損失（△）	4,334	△22	4,311	△14	4,296	△453	3,842

（注）１．　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△436百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間　（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	54,623	2,860	57,484	435	57,919	－	57,919
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	12	10	22	△22	－
計	54,635	2,860	57,496	445	57,942	△22	57,919
セグメント利益又はセグメント損失（△）	3,308	13	3,322	△17	3,304	△338	2,966

（注）１．　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△338百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．　セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。